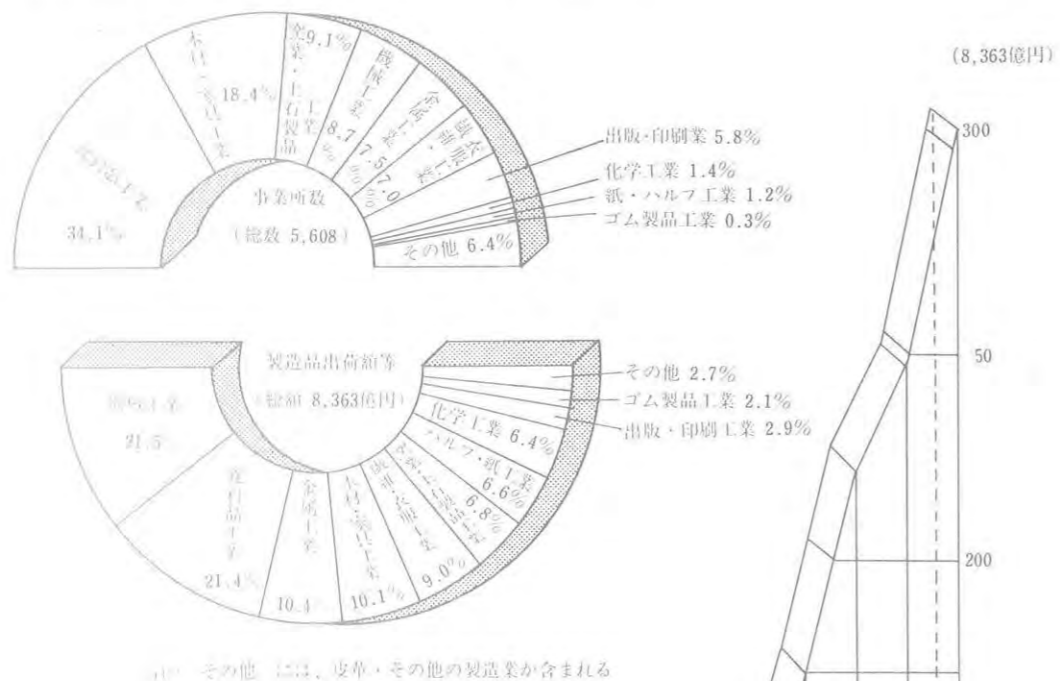


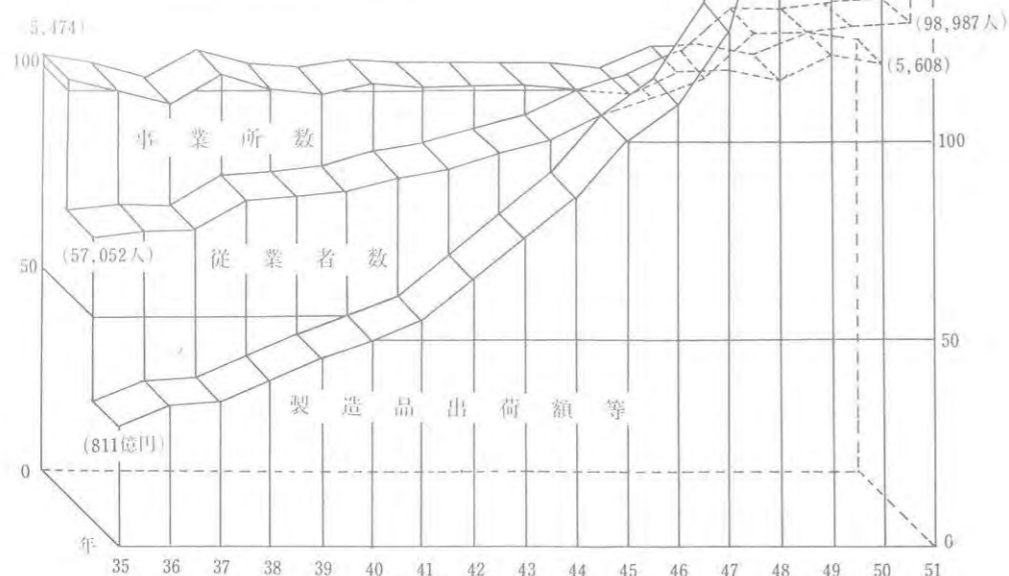
眼で見る県政

●産業中分類別事業所数および製造品出荷額等の構成比



●事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

(指数：昭和45年=100.0)



9.9一日中友好「九州青年の船」に参加する県代表団の結団式が県庁プロムナードで行われた。今年度の県代表団は富永典吾団長(県青少年課長)以下50人(うち女子17人)。一行は12日天津に着いた後、北京、旅大、瀋陽を回って中国青年と交歓、研修を行って23日帰国した。



9.16一世代を超えて話し合おうと「老人と若い世代の集い」が松島町の県立天草青年の家で開かれた。初めての集いには県下各地から90人の老人、青年が参加し、「家庭、地域における老人と青年の悩み、役割」をテーマで話し合いを行った後、交歓会を楽しんだ。



9.26交通事故をなくそうと関係者ら約400人が参加して交通安全県民大会が開かれた。交通事故犠牲者へ黙とうをささげた後、交通安全功労者など14団体、166個人の表彰を行い、全員で交通事故のない安全で明るい社会を建設しようと誓い合った。



9.28水稻採種の功労者、故東基作翁をたたえる顕彰碑除幕式が鹿本郡菊鹿町で行われた。東翁は米作改良に力を入れ、一粒一株密植による稲作増収法を創案した人。またこの日は同町採種事業70周年記念祝賀会も催された。



7.31一日ごろ青少年の健全育成のため活動しているあらゆる団体が参加して、青少年育成県民総ぐるみ運動県大会が県庁で行われた。「青少年健全育成は、県民すべての願いであり責任である」と沢田知事が挨拶した後、功労者表彰、意見発表が行われた。



8.8-第18回県漁村青年婦人グループ活動実績発表大会が、県庁地下大会議室で行われ、県下各地区の漁協を代表する漁民、婦人9人が活動実績を報告しました。最近の200カイリ問題等、本県でも漁業に対する関心が高まっており、例年の三倍近い約450人が参加した。



8.10-第17回県青年農業者技術交換大会が、玉名郡天水町を主会場に3日間わたって行われた。大会には県内11地区の4Hクラブ会員等約500人が参加し、技術競技や民泊交歓を行い、農政問題、農業経営、クラブ活動などについて活発に意見を交換した。



8.30-県民の県政に対する理解と認識を深めるとともに、参加者の声を聞いて今後の行政施策を反映させるための「動く県政教室」施設公聴が行われた。今年で7回目を迎え、25コース、38施設(延89施設)に1,250人が参加した。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス